

テーマ
LINE スタンプ制作プロモプロジェクト
目標
学習レベル 1 1. ○○語でLINE のオリジナルスタンプを作成し、適切に運用できる。 2. クラスのみんなが使いたくなるような紹介（実演）ができる。 3. LINE スタンプ制作を通じて、社会経済活動に加わる。
コミュニケーション能力指標
*下記には、本プロジェクトで扱えるであろう全指標をあげた。その時々授業によってこの中から適宜選ぶ。 【日常生活】 1-a. 一日の生活の基本的なあいさつができる。 1-e. 予定(いつ何をやる)を、メモにして伝えることができる。 【からだと健康】 1-c. からだの調子(疲れているか、気分が悪いかなど)について、言ったり尋ねたりできる。 【人とのつきあい】 1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現(初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど)を、言ったり、聞いて理解したりできる。 1-d. 電話をかけるときによく使う表現(もしもし、～いますかなど)を用いて、電話で簡単なやりとりができる。 1-e. お祝いの気持ち(おめでとう、頑張ったねなど)を、口頭でまたは書いて伝えることができる。 1-f. 招いたり招かれたりするときに交わす基本的な表現を、言ったり、聞いて理解したりできる。 【行事】 1-a. 行事(年中行事、祝祭日、記念日、通過儀礼など)の名称・月日を、言ったり尋ねたりできる。 1-d. 祝祭日や記念日・通過儀礼の決まり文句やお祝いのことばを、見たり聞いたりして理解できる。 1-e. 祝祭日や記念日・通過儀礼の決まり文句やお祝いのことばを、言ったり書いたりして伝えることができる。 1-f. (誕生日や記念日などの)プレゼントに何が欲しいか、口頭でまたは書いてやりとりできる。 【自然環境】 1-a. 天気についてよく言う簡単な言い回し(今日は暑い、暖かい、寒い、涼しいなど)を使って、あいさつを交わすことができる。
学習シナリオ
<場面状況> A 大学の共通教育科目の外国語のクラス（選択必修、初級文法）では、学習者の外国語学習意欲が低く、初年次の全課程を終えても、挨拶もままならない学習者が大半を占める状況であった。そこで、現在、若者の中で主要なコミュニケーションツールとなっている無料通話アプリ LINE に着目し、後期の授業の最終目標として、○○語を使った LINE スタンプを作ることに、後期の後半の授業（7 回分）を「外国語学習のめやす」にそったプロジェクト型学習を取り入れることにした。
<活動の流れ> 【プレコミュニケーション活動】 後期の授業の前半（8 回分）では、主に従来通り、初級文法・語彙に焦点を当てた授業を行うが、初回の授業で、このプロジェクト型学習について、以下の点を説明し、学生の関心・意欲を高めておく。 ・○○語が十分に習得できていなくても、LINE スタンプで○○語母語話者と「つながる」=友達になることができる！ ・自分が作ったスタンプを世界中の人に使ってもらえる可能性がある（将来はあなたも「画伯」?!） ・もし、世界中のいろいろな人に使ってもらえたら…。億万長者になれる??

【コミュニケーション活動】

第1回目

【学習目標の提示】

1. 先輩の作った LINE スタンプを学生に提示し、活動の方向性をイメージさせる。

【○○語の文化的要素への気づきの促しと LINE スタンプ制作のための事前準備】

2. クラス全体で○○語の既存（LINE 上）のスタンプの分析をする。スタンプで多用されているフレーズや、そのフレーズに対応するボディランゲージや表情を調べる。また反映されている文化的要素について話し合う。
3. フレーズ・語彙・ジェスチャーをリストアップする。

第2回目

3. 3人×6つのグループに分ける。

4. リストをもとに話題分野・指標を提示し、各グループで、その分野・指標の中で実際に用いられる可能性の高いフレーズや語彙を 20 個選択・決定させる。3つ以上の指標を使用するという条件を提示する。
5. 20 個のフレーズ・語彙とイラストのラフ案を作成する。キャラクター決めから始める。【宿題】

第3回目

6. ラフ案を提出する。

7. 学生が選定したフレーズ・語彙とイラストのラフ案を教師がチェックする。

8. 提出したラフ案の中から、5つ以上を選んで、その使用場面の会話文（シナリオ）を作る。【できれば宿題】

9. 制作アプリを紹介し、スタンプ制作のやり方を教える。

第4回目

10. 実際にアプリを使って、20 個のスタンプを制作する。【最終授業の 1 週間後までの宿題、評価対象】

【プロモーション活動】

11. 8. の宿題の 5 つのシナリオを提出させる。

第5回目

12. 返却したシナリオを使って、発表の練習をする。

第6・7回目

13. 作成したシナリオを使って、そのスタンプを使いたくなるような効果的な発表（実演）をする。【評価対象】

14. お互いのスタンプを相互評価する。（自分たちのグループは除外）

【発展的活動】

授業終了後の活動

15. LINE スタンプを申請する。（申請が許可されるまでに 3-6 ヶ月の期間が必要）

16. 授業終了後の学生の発展的・継続的な○○語の学習・運用を促すために、クラスの LINE グループを作る。

そこでスタンプのリリース許可を学生に伝え、LINE グループ内での相互の使用を促し、教師自身にも送ってもらう。

17. さらに、グループ外の人々（学習者及び○○語母語話者）と LINE スタンプを使ってコミュニケーションをとる。

18. LINE スタンプがリリースされたことを後輩の学生や○○語の母語話者に、SNS 上で紹介（プロモーション）することで、社会経済的活動につなげる。

19. 次年度の後輩のクラスで、自分たちの作った LINE スタンプを紹介するとともに、リリース後のプロモーション活動とその反響について報告する。→（年次をまたいで 1 の活動につながる）

総括的評価

LINE スタンプの原案が、

- ① 提示した指標を 3 つ以上ふまえていたか。
 - ② フレーズ・語彙とイラストが○○語の文化において不自然ではなかったか。
- クラス内での発表について、
- ③ 会話文（シナリオ）は自然であったか。
 - ④ 発表態度（声の大きさ・シナリオの再現）はよかったか。
 - ⑤ スタンプが使いたいと思うような魅力的なものであったか。（学生による相互評価）

指示文

このクラスでは、〇〇語でLINEのオリジナルスタンプ作りに挑戦したいと思います。〇〇語を習っている人や〇〇語圏の人たちが見て、買いたいと思うようなスタンプを作ってください。手順、提出物、注意点は次の通りです。

【手順】

1.スタンプ作成

- 1) クラス全体でいくつかの〇〇語の既存のスタンプで多用されているフレーズ・語彙やイラストを調べる。
- 2) 3人ずつのグループで提示された話題分野・指標の中で実際に使う可能性の高いフレーズや語彙を20個選択・決定する。
- 3) 20個のフレーズ・語彙とイラストのラフ案を作成し、チェックを受ける。その際、キャラクター決めから始める。
- 4) 制作アプリの使用方法を学習し、実際に20個のスタンプを作成する。

2.クラス内でのスタンプの紹介

- 5) 制作したスタンプのうち、5つ以上を選んで、そのスタンプを使う場面のLINE上での会話文を作る。
- 6) 作った会話文を使って、クラスの前で発表（その会話文の実演）をする。
- 7) 発表を見ながら、お互いにスタンプを評価する。

3.LINEスタンプの申請・使用・紹介（授業外の活動）

- 8) LINEスタンプのリリースを申請する。
- 9) 許可がおりたら、クラスのLINEグループでLINEスタンプを相互に使ってみましょう。私にも是非送ってください。
- 10) 許可がおりたら、LINEスタンプを使って、様々な人とコミュニケーションをとってみましょう。
- 11) また、〇〇語を学習している友人や後輩、〇〇語の母語話者に、SNS上などで〇〇語で紹介をしてみましょう。
- 12) 次年度の後輩のクラスで、自分たちの作ったLINEスタンプを紹介しましょう。
リリース後のプロモーション活動とその反響について報告しましょう。

提出物

- 1) 20個のLINEスタンプの原案（リリース申請用）
- 2) そのうちの5つ以上のスタンプの使用場面の会話文（シナリオ）

評価

提出物のうちの「LINEスタンプの原案」、及び、「クラス内での発表」を評価対象とする。

- 1) LINEスタンプの原案の評価
 - ・提示された話題分野のうち3つ以上の指標をふまえていたか。
 - ・フレーズ・語彙とイラストが〇〇語の文化において不自然ではなかったか。
- 2) クラス内での発表の評価
 - ・実演した会話文（シナリオ）は自然であったか。
 - ・発表態度はよかったか。
 - ・スタンプが使いたいと思うような魅力的なものであったか。（学生の相互評価）

注意点

- 1) 20個のフレーズ・語彙のうち、提示された話題分野のうち3つ以上の指標を使用すること。
- 2) クラス内での発表は、クラスのみみんなが使いたいと思うように工夫すること。
- 3) 発表に対する相互評価では、自分たちのグループの評価はしない。
- 4) その評価シートは後日配布する。

マスター研修 2015 夏_グループ 5 作成プラン

作成者：松崎真日（韓） / 寺尾美登里（西） / 糸数恵（英） / 柳素子（中） / 櫻井千穂（日）

ワークシート3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体でLINE上の○○語のさまざまな既存スタンプを分析し、スタンプで多用されている語彙やフレーズ、また、そのフレーズに対応するボディランゲージや表情を調べ理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンプに反映されている文化的要素を調べ理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEスタンプ制作アプリ、またその使い方を知る
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した20のスタンプのうち5つ以上選んで、その使用場面のシナリオを作る ・話題分野・指標の中で用いられるであろう実際に使う可能性が高いフレーズや語彙を20個選択できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEスタンプの制作 ・クラス内のLINEグループ内で、LINEスタンプを使える 	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた手続きに従ってLINEスタンプリリース申請を行う
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・リリース許可後に作成したスタンプを使ってLINE上でさまざまな人とコミュニケーションをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・リリース許可後に文化的要素を反映したLINEスタンプを使って、様々な人（学習者及び○○語母語話者）とコミュニケーションをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEスタンプ制作を通じて、社会経済活動に加わる ・リリース許可後に、後輩や○○語の母語話者にSNS上でLINEスタンプをプロモーションする ・次年度の後輩のクラスで、自分たちの作ったLINEスタンプとリリース後の反響、そしてこのプロジェクトについて報告する
三連携	関心・意欲・態度/学習スタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・○○語でLINE等を使い、オンラインでコミュニケーションをとる意欲が生じる 	
	既習内容・経験/他教科の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリの使用/デザイン 	
	教室の外の人・モノ・情報	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中のLINE使用者とのつながり 	

マスター研修 2015 夏_グループ5 作成プラン

作成者：松崎真日（韓） / 寺尾美登里（西） / 系数恵（英） / 柳素子（中） / 櫻井千穂（日）

目標分解表

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
先輩が作った LINE スタンプを知る	クラス全体でいくつかの〇〇語の既存のスタンプを調べ、そこで多用されているフレーズ・語彙を知る	〇〇語でみんなに使ってもらえるようなスタンプ作成することができる	1. 〇〇語で LINE のオリジナルスタンプを作成し、適切に運用できる。 2. クラスのみんなが使いたくなるような紹介(実演)ができる。 3. LINE スタンプ制作を通じて、社会経済活動に加わる。
既存のスタンプで多用されているフレーズ・語彙をリストアップする			
イラストのジェスチャーや表情を確認する			
フレーズ・語彙・ジェスチャーの意味を知る			
いつ、どのように使うかについて話し合う			
【形成的評価】リストを提出させ、理解を確認する → 誤りを訂正するフィードバック			
話題分野を知る	フレーズや語彙を決定するために、提示された話題分野の中から、自分たちが扱いたい指標が3つ以上選べる		
その中から自分たちが扱いたい指標を3つ以上選ぶ			
作るスタンプを決める(キャラクターを決めてからスタートする)	選んだ3つの指標に関連するスタンプのラフ案が出せる		
フレーズ・語彙にあったイラストを描く			
【形成的評価】ラフ案を提出させ、フレーズ・語彙とイラストがマッチしているかを確認する→誤りを訂正するフィードバック			
制作アプリの使用方法を学習する	制作アプリを使ってスタンプを作成する。		
実際に 20 個のスタンプを作成する。			
【総括的評価1】作成されたスタンプを提出させる			
制作したスタンプから実演で使うものを5つ以上選ぶ	制作したスタンプのうち、5 つ以上を選んで、そのスタンプを使う場面の LINE 上で会話文(シナリオ)を作る	自分たちが作成した LINE スタンプをみんなが使いたくなるような発表(シナリオ・ロールプレイ)ができる	
そのスタンプを使った会話文(シナリオ)を考える			
考えたシナリオを〇〇語に訳す			
【形成的評価】シナリオを提出させ、正確さや適切さをチェックする→誤りを訂正するフィードバック (成績対象)			
役割を決める	その会話文を使って作成されたスタンプをみんなが使いたくなるような魅力的な発表ができる		
プレゼンテーションの練習をする			
【総括的評価2】クラス内でシナリオを発表する(相互評価(成績対象・加点式)含む)			
【補足】発展的活動(授業終了後の活動)として、 クラスの LINE グループで、LINE スタンプのリリースを告知し、相互に使う。 次年度の後輩のクラスで、自分たちの作った LINE スタンプを紹介するとともに、リリース後のプロモーション活動とその反響について報告する			

マスター研修 2015 夏_グループ5 作成プラン

作成者：松崎真日（韓） / 寺尾美登里（西） / 系数恵（英） / 柳素子（中） / 櫻井千穂（日）




総括的評価 1. LINE スタンプに対する評価

評価基準	目標以上に達成	目標を達成	目標達成まであと少し！	目標達成まで努力が必要
	(4点)	(3点)	(2点)	(1点)
話題分野の指標	スタンプ制作にあたって指標を5つ以上用いた。	指標を3つ以上用いた。	指標を2つしか用いなかった。	指標を1つしか用いなかった。
スタンプが表す文化的要素	未習事項を積極的に取り入れ、正確に用いていた	教室内で学習した文化的要素を全て正確に用いていた	教室内で学習した文化的要素がある程度正確に用いていた (5-7割)	教室内で学習した文化的要素をあまり正しく使えなかった

総括的評価2. 発表に対する評価

	目標以上に達成	目標を達成	目標達成まであと少し！	目標達成まで努力が必要
	(4点)	(3点)	(2点)	(1点)
シナリオのでき×2	全てのシナリオが自然で、尚且つ面白みのある内容だった	全てのシナリオが自然だった	シナリオの中のスタンプの使い方が間違っているのもあった	シナリオの中のスタンプの使い方が間違っていた
シナリオの再現	全くスクリプトを見ずに、相手を意識して話せた	2-3回スクリプトを見ることはあったが、話せた	スクリプトを見るほうが多かったが、話せた	スクリプトを読んでいた
声の大きさ	聞き手に内容がはっきりと伝わる声の大きさだった	言っていることはわかった	聞き取れないこともあった	ほとんど聞き取れず、何を言っているかわからなかった

学習プロジェクトプラン作成にあたり想定した「学習者像」

<p>宮城大樹(みやぎだいき, 男)</p> 	<p>情報工学専攻, 沖縄糸満市, 一人暮らし, 明るく大雑把, スマホゲーム, 6人家族(両親、姉、弟、祖母), 漁師(父)会社員(母), コンビニでバイト, バイト&ネットつながりの友人, プログラミング得意, 語学不得意, ゲーム開発(スマホアプリ作成) アルバイトが忙しく, 学習時間はほとんど持てない スマホ・タブレットあり, その他のリソースを買う当てはない</p>
<p>藤原彩子(ふじわらあやこ, 女)</p> 	<p>芸術専攻, 京都市, 自宅通い, マイペース, らくがき&外国語映画鑑賞, 4人家族(両親, 兄) 会社員(父), 専業主婦, 不定期なバイト, 軽音, デザイン, 国語得意, 夢は漠然とあるが具体的ではない, ときどきは学習時間を取り, やるときは3時間ほどやるが, 持続性はない スマホあり, 辞書なし, お金が貯まったらPCを買う予定</p>
<p>川中翔子(かわなかしょうこ, 女)</p> 	<p>教育専攻, 大阪市, 自宅通い, 姉御肌, しっかりしている, ボランティア, 4人家族(両親, 弟) 教員(両親), 家庭教師, 友達がたくさんいる, 英語・パソコン操作が得意, 教員(海外志向), 毎日1~2時間必ず学習時間を取っている 紙辞書, 電子辞書, スマホ, PC(家族共有)</p>

LINE スタンプの作成・使用例『スペイン語学習者 A（日本語母語話者） とスペイン語母語話者 B の LINE スタンプを使用した会話例』



A：スペイン語学習者（日本語話者）
B：スペイン語母語話者
<訳1>
A：こんにちは！
B：こんにちは！
A：お願いがあるんだけど…



<訳2>
B：何？言って。
A：「乾杯」ってスペイン語でなんて言う？
B：「かんぱい」？
英語で言ってみて。
A：“Cheers！”
B：“Salud” だよ。

LINE スタンプの作成・使用例『スペイン語学習者 A（日本語母語話者） とスペイン語母語話者 B の LINE スタンプを使用した会話例』

